

株式情報 (2017年9月30日現在)

株式の状況

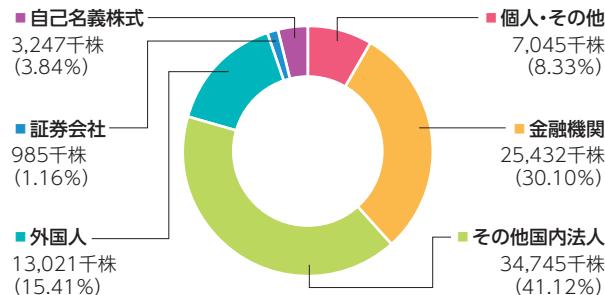
発行可能株式総数	288,000,000 株
発行済株式の総数(うち自己株式 3,247,695株)	84,476,500 株
株主数	12,205 名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本航空株式会社	4,398	5.41
ANAホールディングス株式会社	4,398	5.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ 京浜急行電鉄株式会社退職給付信託口)	3,484	4.28
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,408	4.19
株式会社みずほ銀行	3,300	4.06
三菱地所株式会社	3,111	3.83
大成建設株式会社	2,831	3.48
CHASE MANHATTAN BANK	2,593	3.19
GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	2,593	3.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,417	2.97
日本通運株式会社	2,337	2.87

(注)持株比率は自己株式(3,247,695株)を控除して計算しております。

所有者別株式数分布



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの100%植物油のインクおよびFSC®認証紙を使用し、印刷工程で有害廃液を出さない[水なし印刷方式]を採用しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。 http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/
株主名簿管理人	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)

各種お手続きのお取扱窓口について

住所変更や買取・買増請求等株主さまの各種お手続きのお取扱窓口は以下の通りです。

- 証券会社等に口座をお持ちの場合
お取引の証券会社等になります。
- 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)

電話でのお問い合わせ
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-288-324(フリーダイヤル)

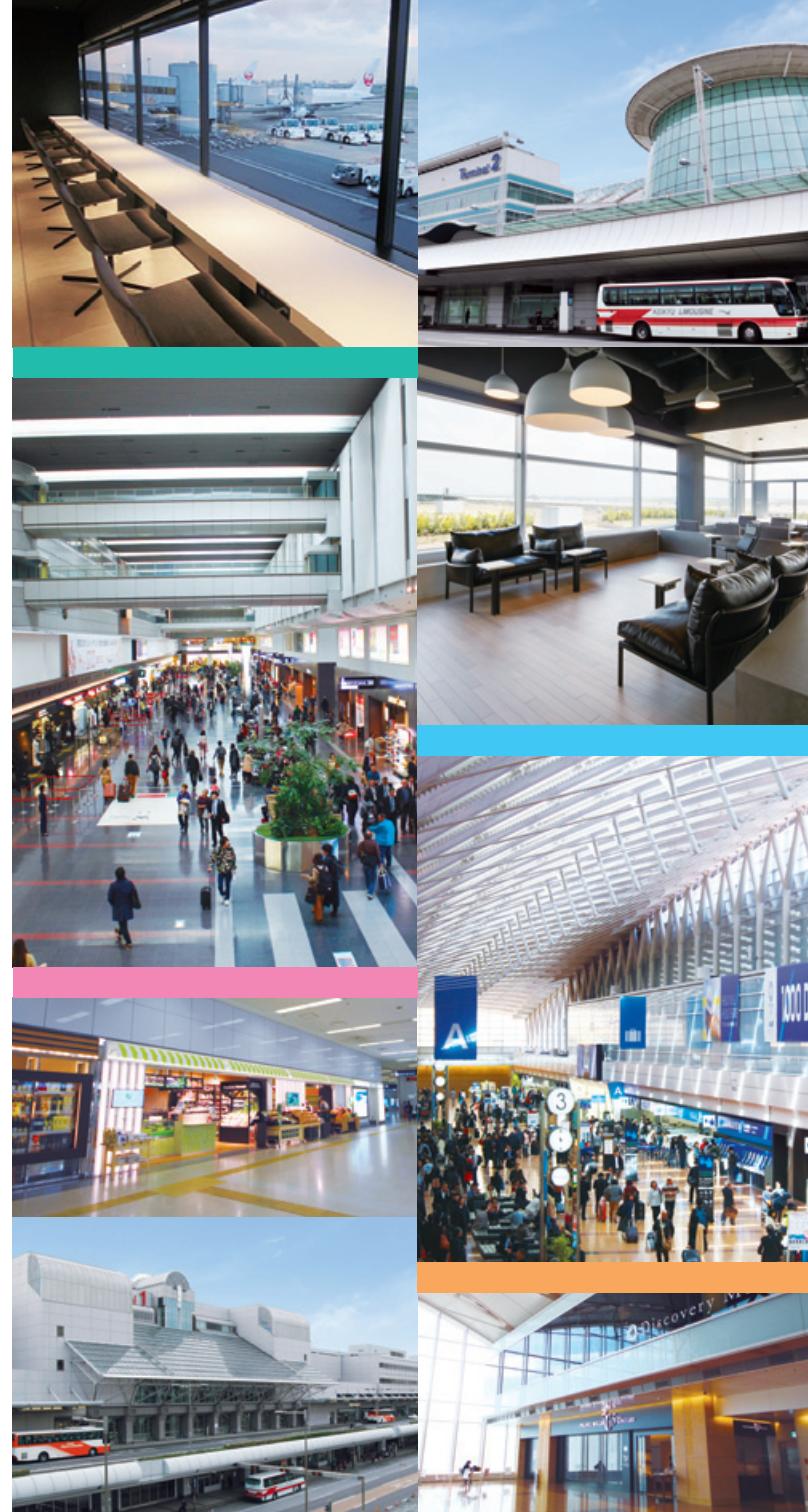
- ※土・日・祝日を除く9:00~17:00
- 各種手続きお取扱店
みずほ証券
本店および全国各支店
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。
- みずほ信託銀行
本店および全国各支店
※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。



〒144-0041 東京都大田区羽田空港三丁目3番2号(第1旅客ターミナルビル)

TEL:03-5757-8000(代表)

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/>



株主・投資家の皆さまへ

第74期 株主通信

第2四半期

2017年4月1日~2017年9月30日



証券コード：9706

羽田空港のあるべき姿を追求し、世界中の

お客さまから信頼され続ける空港を目指してまいります。



代表取締役会長兼CEO

鷹城 勲

代表取締役社長執行役員兼COO

横田 信秋

訪日外国人旅客数は継続的に増加し、羽田空港においても予想を上回る伸びとなりました。

訪日外国人は2017年に入りましても継続的に増加しており、訪日外国人による旅行消費額も大幅に伸びております。特に、羽田空港におきましては、昨年10月末から米国便の日中時間帯での増便があったことから、国際線旅客数は増加傾向にあり、国内線旅客数におきましても、昨年の熊本地震からの航空旅客の回復や、内陸乗継客の増加など、ともに予想を上回る伸びとなりました。

下期の事業環境につきましても、乗継客や国内出張、個人旅客の増加および深夜時間帯の増便などを見込み、航空旅客数は、国内線・国際線ともに継続して増加を見込んでおります。

通期業績予想では増収増益を見込んでおります。

上期につきましては、航空旅客数が堅調に推移したことにより、空港免税店や市中免税店での売上が増加したことに加え、市中免税店の抜本的な対策による費用削減効果が見られ、また、全社的なコスト削減策の取り組みを進めたことで、増収増益となりました。下期につきましても、引き続き航空旅客数の増加を見込み、当初予想より売上高を上方修正いたしますが、さらなる安全(減災)対策における修繕工事を追加するとともに、上期に予定していた業務委託費等の発生、また、中期経営計画を着実に取り組むための出費から、利益面の予想は、若干下回るものとみております。また、営業外損益でも、持分法投資利益は上方修正をしますが、資金調達に係る諸費用の発生などがあり、経常利益も下回るものとみております。これにより通期の業績としましては、売上高は2,190億円、営業利益は117億円、経常利益は146億円、親会社株主に帰属する当期純利益は103億円を予想しております。

空港利用者の目線に立った利便性の高い快適なターミナルを目指し取り組んでまいります。

2016年度から2020年度までの5年間を計画期間とする中期経営計画「To be a World Best Airport 2020」の進捗状況についてですが、はじめに「強みを活かした事業領域の拡大・収益多元化」では、市中免税事業の業績向上への取り組みとして、出資株主をはじめ全社を挙げての対策を取り進めたことで、訪日中国人利用客の増加もあり、大幅な業績の改善を図ることができました。また、海外での空港運営事業としては初めてとなる、南太平洋のパラオ国際空港の運営事業への参画が決まりました。

この他、免税事業におきましては、本年12月に中部国際空港に直営ブランドブティックを開業いたしました。さらには、関税法基本通達の一部改正により、日本においても展開が可能となった到着免税店については、現在、関係省庁や東京国際空港ターミナル株式会社(以下、TIAT)と調整しながら、今年度下期のオープンに向けて準備を進めております。

次に「羽田空港の“あるべき姿”の追求」では、羽田空港の国際線旅客ターミナル施設の拡充を進めるにあたり、総事業費として総額750億円の投資を予定しておりますが、既に国内線第2旅客ターミナルの一部の国際化工事と、国内線サテライトやボーディングステーションを設置する工事に着手しており、2020年2月までにすべての施設を整備する予定です。国内線第2旅客ターミナルの国際線エリアでは、特に国内線と国際線の乗継に重点を置いて設計しており、国際線の到着ロビーが国内線の

出発ロビーにつながる効率性の高い施設となります。このように国内線と国際線を同一のターミナルで運用することにより、ターミナル内の商業施設の活性化も期待しております。この他、国際化工事の一環として、P4立体駐車場の増築工事を予定しております。当社は本年も英国SKYTRAX社の国際空港評価におきましては、4年連続で5スターエアポートを獲得しましたが、今後の投資を通じて、航空需要の増加に応えるのみならず、羽田空港が今後も成長し続ける上で、空港利用者の目線に立った利便性の高い快適なターミナルを提供するための成長投資を実施してまいります。

次に「収益基盤再構築、競争優位の確立」では、引き続き全社的なコスト削減策に取り組むとともに、空室活用策の一環として取り進めております、第1旅客ターミナル5階の南側スペースを活用したビジネスモール構想につきましては、「THE HANEDA HOUSE」の名称で、「羽田で過ごす」通過する場所から滞在する場所へをコンセプトとして、2018年12月にグランドオープンする予定で準備を進めております。

最後に、本年9月15日、10月26日に発表しましたTIATにおける第三者割当増資引受につきましては、TIATは、増加が予想される国際線旅客に対応するためのターミナルビル拡充計画に着手し、それに要する資金の一部を新株発行により調達することになりました。

当社はこれに協力し、TIATの株式を追加取得することで、当社の株式持分は51%となり、現在、当社の持分法適用会社であるTIATは連結子会社となります。なお、今回の中期経営計画では、TIATの連結子会社化を想定しておりませんでしたので、ガイドライン(目標指標)や、投資計画、収支計画などの数値計画につきましては、連結後の財務諸表を精査、検討した上で、新たな指標を策定し発表させていただきます。

中間配当金は1株当たり20円とし、期末配当金は1株当たり20円を予定しております。

株主の皆さまへの利益還元につきましては、羽田空港の一層の機能強化が求められる中、今後の大規模投資を考慮して内部留保を確保すると同時に、安定した配当を継続して実施することを基本方針としております。

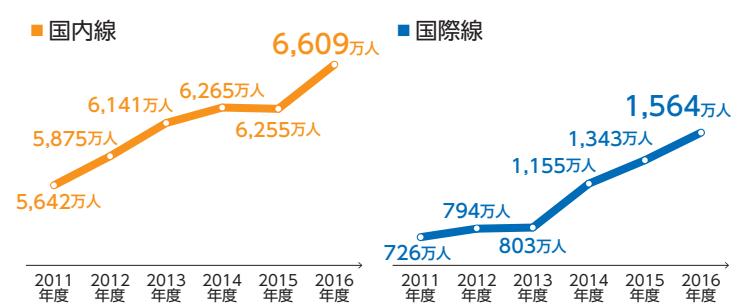
当期の中間配当金につきましては、インバウンド需要のさらなる拡大により、第2四半期としては過去最高額の利益を更新したことから、前回予想から2円増配の20円といたします。また、期末配当金につきましても、前回予想から2円増配の20円とし、年間配当金は1株当たり40円を予定しております。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■決算ハイライト(2018年3月期 第2四半期連結業績)

売上高	1,080億円
営業利益	67億円
経常利益	87億円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	61億円

■羽田空港旅客数



羽田空港第2旅客ターミナル地区拡充整備

羽田空港では、現在、さらなる首都圏空港の機能強化に向け、国において、地元のご理解をいただけるよう、住民説明会などを通じた丁寧な情報提供を行っているところです。

このような状況下、当社では、機能強化に向けた対応として、2017年10月より、第2旅客ターミナルで国際線・国内線対応施設の整備工事を開始しました。

具体的には、第2旅客ターミナルの南側を増築し、7スポットを国際線に対応した施設(2スポットは国際線専用、5スポットは際内共用)にするとともに、国際線に必要な税関・出入国管理・検疫施設、免税店、チェックインカウンター、手荷物受取場等を整備し、2020年3月頃の供用開始を目指します。また、第2旅客ターミナル北側に位置する国内線東貨物地区に国内線用搭乗施設(6スポット)を整備します。

① 第2旅客ターミナル国際線施設



国際線施設 外観(イメージ)



国際線施設 出発ロビー(イメージ)

② 第2旅客ターミナル北側サテライト等(国内線東貨物地区)



北側サテライト等 鳥瞰図(イメージ)



北側サテライト 外観(イメージ)

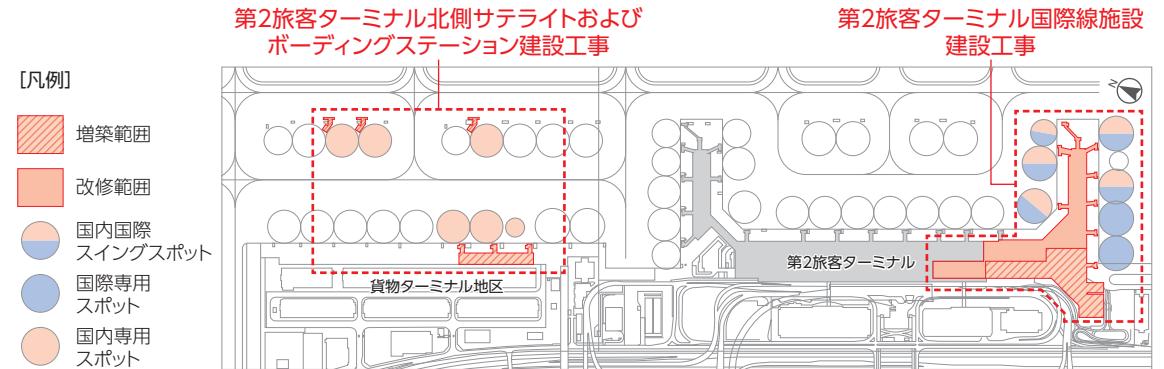
第2旅客ターミナル地区拡充整備の概要

第2ターミナル国際線施設建設工事

・建物概要	主要用途	空港旅客ターミナル施設 (地上5階、地下1階)
	工事対象面積	約88,200㎡ (既存改修部分含む)
・期間	2017年10月～2020年2月末日(予定)	
・設計監理者	梓・安井・PCPJ東京国際空港第2ターミナル 国際線施設建設工事 設計監理共同企業体	
・技術アドバイザー	株式会社三菱地所設計	
・施工者	大成建設株式会社	

第2ターミナル北側サテライト等建設工事

・建物概要	主要用途	空港旅客ターミナル施設 (地上3階)
	工事対象面積	約12,600㎡
・期間	2017年9月～2018年9月末日(予定)	
・設計監理者	東京国際空港第2ターミナル 北側サテライト等増築工事 設計監理共同企業体	
・技術アドバイザー	株式会社三菱地所設計	
・施工者	株式会社竹中工務店	



東京国際空港ターミナル株式会社(TIAT) 第三者割当増資引受

東京国際空港国際線地区旅客ターミナルビル等整備・運営事業につきましては、2010年10月21日に羽田空港国際線旅客ターミナルビルを供用開始して以来、国際線昼間時間帯発着枠の拡大に対応するため、2014年9月には同ターミナルビル等を拡張するなど順調に推移しており、現在は、さらなる首都圏空港の機能強化に向け、国において、地元のご理解をいただけるよう、住民説明会などを通じた丁寧な情報提供を行っているところです。

このような状況の下、地元のご理解をいただきつつ、施設整備に着手しており、東京国際空港ターミナル株式会社(以下、TIAT)は、国際線旅客ターミナルビルの拡充計画を進めており、同施設の拡充に要する資金

調達計画の一つとして、新株発行により株主から資金を調達する計画を策定いたしました。

これを受け、当社はTIATの代表企業としての責務を果たし、本事業のさらなる確実な実施に向けて協力していくため、TIATが発行する株式を追加取得することとしました。これにより当社とTIATは、より一層一体的な関係を構築し、羽田空港の最大の特色である国内線・国際線ハブ機能を十分に発揮して利用者利便のさらなる向上を図ってまいりたいと考えております。

なお、この第三者割当増資引受により当社の株式持分は51%になることから、TIATは持分法適用会社から連結子会社となります。

特集 2

当社と双日が パラオ国際空港の運営事業に参画

当社と双日株式会社(以下、双日)は、2017年8月、パラオ共和国政府とともに設立した空港運営会社を通じて、パラオ国際空港の20年間の事業運営権を取得いたしました。両社は、海外での空港運営事業に初めて参画いたします。

パラオ国際空港は、同国にとって唯一の国際空港であり、近年では観光客など交流人口の増加により、その重要性はますます高まっております。当社は双日とともに、商社の強みやこれまでの空港運営のノウハウをもって同空港の運営にあたり、空港サービスの高度化と利便性の向上および収益力の強化を図ってまいります。

両社は、この事業を通じて、観光を基幹産業とするパラオ共和国の経済・社会の持続的な発展に貢献することを目指してまいります。



パラオ国際空港の完成予想図

■パラオ国際空港の概要

所在地:バベルダオブ島アイライ州(最大都市コロール郊外に位置)
年間取扱旅客数:約28万人(2016年、パラオ国籍の旅客を除く)



会社概要

- 会社名**
パラオ・インターナショナル・エアポート株式会社
(Palau International Airport Corporation)
- 事業内容**
パラオ国際空港ターミナルの改修、拡張、運営および維持管理など
- 株主構成**
パラオ共和国政府49.0%
中間持株会社51.0%(当社、双日がそれぞれ50.0%出資)
- 総事業費**
約35億円

特集 3

羽田空港跡地の開発 (第1ゾーン整備事業)が開始

羽田空港跡地第1ゾーンの開発について、当社が参加する応募グループ(代表企業:鹿島建設株式会社)が事業予定者として選定されました。

本事業は、東京都大田区の「羽田空港跡地まちづくり推進計画」および「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針」に基づき検討され、「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業(第一期事業)」として公募された事業です。

当社は、これまでの強みを生かし、出資者および事業者の立場として積極的に取り組んでまいります。

事業コンセプト

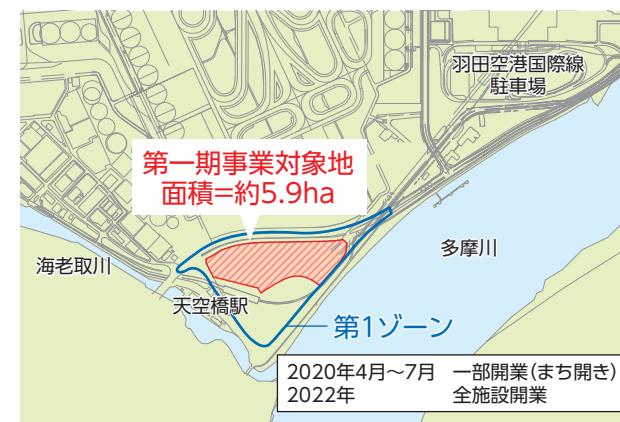
HANEDA Future Core

～ここに日本の未来が集まる～

"HANEDA Future Core"を具現化する取組方針

- 1 国際的な産業拠点に求められる集積と機能の導入で、本計画地のポテンシャルを最大化する
- 2 異なる技術や発想・文化の出会いを促し、変化に富んだ新しい交流環境を整える
- 3 経験豊富なコンソーシアムが50年にわたって磐石な運営体制・財務基盤を構築し、持続的な成長を果たす

対象区域周辺図



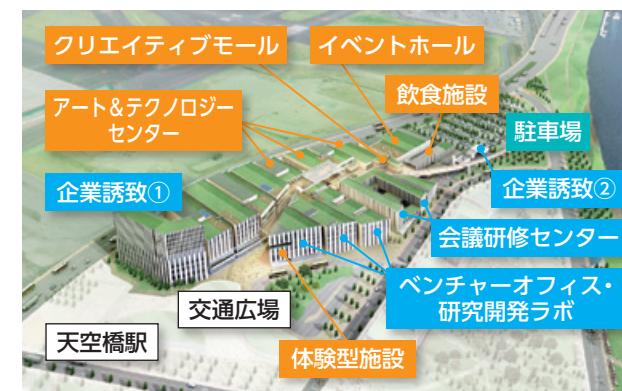
応募グループ

(代表企業) 鹿島建設株式会社

(構成員) 当社、空港施設株式会社、京浜急行電鉄株式会社、大和ハウス工業株式会社、東京モノレール株式会社、野村不動産パートナーズ株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、富士フイルム株式会社

(協力会社) 20事業者

イメージパース



※2017年3月提案時点

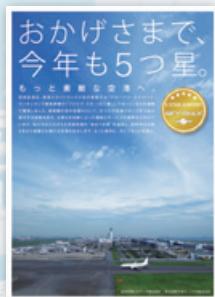
TOPICS 1 SKYTRAX社“Global Airport Ranking” 4年連続「5スターエアポート」を獲得

羽田空港旅客ターミナルは英国のSKYTRAX(スカイトラックス)社^(注1)が実施する“Global Airport Ranking”において、4年連続で世界最高水準である「5スターエアポート」を獲得いたしました。

この1年間、国内線・国際線ともに、多様化するお客さまのニーズをくみ取り、外国人旅客も利用しやすい店舗・設備の拡充やラウンジのリニューアルを行うなど、さらなる旅客の利便性を追求してまいりました。

その結果、おかげさまでスタッフのサービス水準や施設の使いやすさ、館内の清潔さなど、さまざまな項目で引き続き高い評価をいただくことができました。

これからも、日本の空の玄関口として、すべての空港スタッフが常に進化する姿勢を持ち、お客さま目線に立った施設とサービスの提供を心がけるとともに、羽田空港の“あるべき姿”を追求し、世界中のお客さまから信頼され続ける空港を目指してまいります。



羽田空港における受賞の様子

(注1) 1989年創立の英国に拠点を置く航空サービスリサーチ会社。世界の空港や航空会社の評価を行っており、評価の項目は多岐にわたっています。
 (注2) 東京国際空港(羽田空港)の国内線第1・第2旅客ターミナルは当社が、国際線旅客ターミナルは東京国際空港ターミナル株式会社がそれぞれ所有・管理・運営しています。
 (注3) Regional部門で受賞。

Global Airport Ranking 5スターエアポート			
日本	東京国際空港 (羽田空港) ^(注2)	中国	香港国際空港
韓国	仁川国際空港	シンガポール	チャンギ国際空港
ドイツ	ミュンヘン国際空港	カタール	ハマド国際空港
日本	中部国際空港 ^(注3)	中国	海口美蘭国際空港 ^(注3)

TOPICS 2 THE HANEDA HOUSE ~2018年12月グランドオープン(予定)~

日本の玄関口として多様化するニーズへ対応するため、「羽田で過ごす」通過する場所から滞在する場所へをコンセプトとして、昨年9月よりビジネスモールプロジェクトに着手しております。

お客さまの大切な時間をそれぞれのスタイルで過ごせる新たな空港機能として、2018年12月、羽田空港第1旅客ターミナル5階南側に「THE HANEDA HOUSE」の展開を予定しています。

第1フェーズ 運用開始	第2フェーズ	第3フェーズ
(2017年5月31日オープン) 貸会議室「リージャス エクスプレス」 (約500㎡)	(2018年夏オープン予定) ゴルフスタジオ (約370㎡)	(2018年冬オープン予定) 滞在型テナント群 (約2,000㎡)



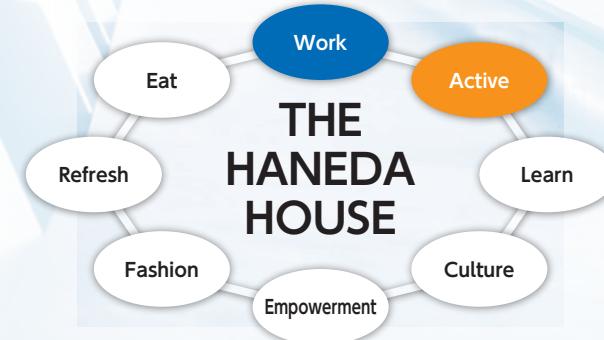
イメージ



イメージ

2018年冬(予定)までに3期に分けて整備する計画の中、2017年5月31日には第1期開業となるレンタルオフィス「リージャス エクスプレス」がオープンし、時間消費型の新たな空港機能により周辺エリアへの波及効果も好調に推移。

2018年夏頃には第2期開業としてゴルフスタジオ、2018年冬には全体開発面積を約4,200㎡とした新しい空港での過ごし方を提案する滞在型テナント群の集積したエリアとして開業予定。



施設を構成する8つのキーワード

TOPICS 3 羽田空港の新店舗をご紹介します

POWER LOUNGE NORTH(パワー ラウンジ ノース)



今春オープンした2つのPOWER LOUNGEに続き、9月25日に国内線第1旅客ターミナル保安区域北側に「POWER LOUNGE NORTH」がオープンしました。ラウンジをご利用されるお客さまへ、活気あふれる「はかどり」と、ほっとできる「安らぎ」の空間をご提供します。また、ラウンジ利用時の限定サービスとして手土産を事前予約し、出発当日ラウンジで受け取る「S-MART PICK UP(スマートピックアップ)」を開始しました。ご出発前のひとときを、ラウンジでゆっくりとお寛ぎいただけます。



第1旅客ターミナル 2階16番ゲート付近 営業時間:6:00~20:30

中国料理 彩(さい)



店名は、「素材の彩」「盛り付けの彩」「店舗の彩」など、さまざまな「彩」のイメージから。ランチタイムには各種セットメニューを、ディナータイムには料理長自慢の「黒酢豚」をはじめとするアラカルト料理やコースメニューをご提供します。



第2旅客ターミナル マーケットプレイス4階 営業時間:10:30~21:30(ラストオーダー21:00)

期間限定 GOBI(ゴビ)



MONGOLIAN CASHMERE

モンゴルの自社工場で一貫生産される同メーカーのカシミアは、繊細で毛足が長く、高いクオリティを誇ります。レディース、メンズ、ベビー、ホームまで、お客さまのライフスタイルに合わせたさまざまな商品をご用意してお待ちしております。



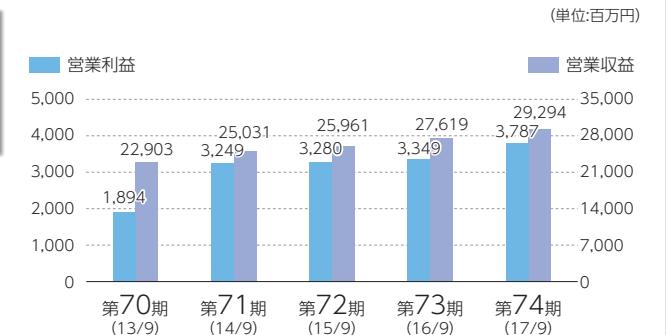
第1旅客ターミナル マーケットプレイス4階 営業時間:10:00~19:00

事業別概況

施設管理運営業

対前年同期比
増収増益となりました。

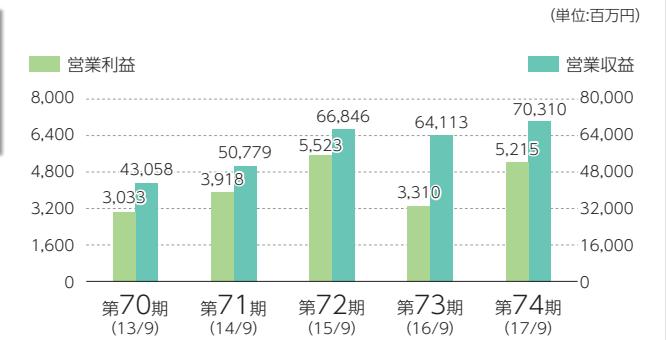
- 羽田空港国内線航空旅客数の増加による、国内線旅客取扱施設利用料の増加
- 羽田空港国際線旅客ターミナルにおける業務受託収入の増加



物品販売業

対前年同期比
増収増益となりました。

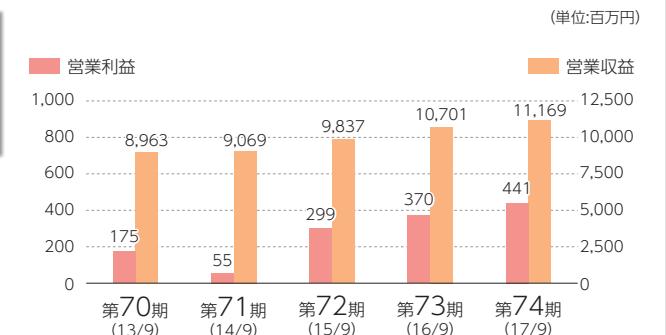
- 羽田空港国内線航空旅客数の増加による、国内線売店売上の増加
- 訪日外国人旅客数の増加による、市中免税店の売上および羽田空港国際線旅客ターミナル店舗への卸売上の増加



飲食業

対前年同期比
増収増益となりました。

- 羽田空港国内線航空旅客数の増加による、飲食店舗売上の増加
- 訪日外国人旅客数の増加による、羽田空港国際線旅客ターミナルにおける飲食店舗業務受託収入の増加



四半期連結 貸借対照表のポイント

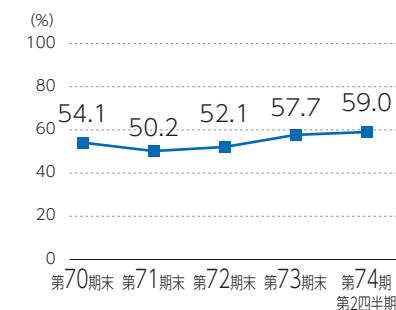
① 資産合計

羽田空港第2旅客ターミナル国際線施設建設工事等の建設仮勘定の支払い等により、前期末に比べて47億4千4百万円増加の2,177億7千万円となりました。

② 純資産合計

その他有価証券評価差額金の増加や、利益剰余金が増加したこと等により、前期末と比べて56億6千3百万円増加し、1,311億1百万円となりました。この結果、自己資本比率は59.0%(前期末57.7%)となりました。

■ 自己資本比率



(単位:百万円)

四半期連結貸借対照表	前期 2017年3月31日現在	当第2四半期 2017年9月30日現在
資産の部		
流動資産	67,555	69,907
固定資産	145,471	147,862
有形固定資産	100,690	100,957
無形固定資産	1,812	1,910
投資その他の資産	42,967	44,994
① 資産合計	213,026	217,770
負債の部		
流動負債	35,596	37,221
固定負債	51,992	49,447
負債合計	87,588	86,669
純資産の部		
株主資本	119,637	124,449
その他の包括利益累計額	3,174	3,951
非支配株主持分	2,626	2,700
② 純資産合計	125,438	131,101
負債純資産合計	213,026	217,770

(単位:百万円)

四半期連結損益計算書	前第2四半期 自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日	当第2四半期 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日
③ 営業収益	99,840	108,066
営業総利益	46,789	50,019
④ 販売費及び一般管理費	42,324	43,270
営業利益	4,464	6,748
営業外収益	2,051	2,212
営業外費用	279	212
経常利益	6,237	8,748
特別利益	—	1
特別損失	0	12
税金等調整前四半期純利益	6,236	8,736
法人税等	1,890	2,454
四半期純利益	4,345	6,281
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	87
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,296	6,193

四半期連結 損益計算書のポイント

③ 営業収益

羽田空港国内線航空旅客数および訪日外国人旅客数の増加に伴い、国内線旅客取扱施設利用料や商品売上の増加等、前年同期比8.2%増の1,080億6千6百万円となりました。

④ 販売費及び一般管理費

人件費および羽田空港国際線旅客ターミナルにかかる業務委託費の増加等により前年同期比で増加しております。

会社概要 (2017年12月1日現在)

会社概要

商号	日本空港ビルディング株式会社 Japan Airport Terminal Co., Ltd.
設立	1953年7月20日
資本金	174億8,920万円(東証一部上場)
事業内容	(1) 羽田空港旅客ターミナルビルの建設、管理運営 (2) 物品販売業務 (3) その他のサービス業務

役員

代表取締役会長兼CEO	鷹城 勲
代表取締役社長執行役員兼COO	横田 信秋
代表取締役副社長執行役員	鈴木 久泰
取締役副社長執行役員	赤堀 正俊
取締役副社長執行役員	宮内 豊久
専務取締役執行役員	米本 靖英
専務取締役執行役員	知久 守一
常務取締役執行役員	加藤 勝也
常務取締役執行役員	川下 晴久
常務取締役執行役員	石関 佳志
常務取締役執行役員	田中 一仁
取締役(非常勤)	大西 賢
取締役(非常勤)	高木 茂
取締役(非常勤)	原田 一之
取締役(非常勤)	竹村 滋幸

本社および営業所など

本社	東京都大田区羽田空港三丁目3番2号 (第1旅客ターミナルビル)
東京事務所	東京都千代田区丸の内二丁目4番1号 (丸の内ビルディング14階)
成田営業所	千葉県成田市古込字込前164番地 (成田国際空港内コスモビル)
大阪営業所	大阪府泉南郡田尻町泉州空港中1番地
中部営業所	愛知県常滑市セントレア一丁目1番地 (旅客ターミナルビル3階)

監査役	小野 哲治
監査役	古賀 洋一
監査役(非常勤)	竹島 一彦
監査役(非常勤)	岩井 幸司
監査役(非常勤)	柿崎 環
専務執行役員	田口 繁敬
常務執行役員	徳武 大介
常務執行役員	久保 健治
常務執行役員	藤野 威
常務執行役員	小山 陽子
常務執行役員	稲葉 一雄
常務執行役員	神宮寺 勇
常務執行役員	上原 貴宏
常務執行役員	笹子 恵一
執行役員	杉本 秀樹

株主優待のお知らせ

当社では3月31日時点の株主さまに対して、毎年6月下旬の年1回、株主ご優待券を贈呈させていただいております。

優待内容

	株主さま全員に		3年以上保有の株主さまに	
	株主ご優待券	株主ご優待割引券	長期保有優待	
ご所有株式数 100株以上 1,000株未満	1枚 1,000円分 	割引券(10%引) 5枚 	+	長期保有優待 VJAギフトカード1,000円券 1枚 
ご所有株式数 1,000株以上 10,000株未満	2枚 2,000円分 	割引券(10%引) 5枚 	+	長期保有優待 VJAギフトカード1,000円券 2枚 
ご所有株式数 10,000株以上	3枚 3,000円分 	割引券(10%引) 5枚 	+	長期保有優待 VJAギフトカード1,000円券 3枚 

ご利用になれる店舗／対象となる株主さま

- 株主ご優待券：羽田空港旅客ターミナル内店舗をはじめとする当社指定店舗にてご利用いただけます。
- 株主ご優待割引券：羽田空港、成田空港、関西空港および中部空港内等の当社指定免税売店でご利用いただけます。

株主ご優待券

- 羽田空港第1・第2・国際線旅客ターミナル、成田空港、関西空港、中部空港の当社指定の店舗
- Japan Duty Free GINZA(三越銀座店8階)
- Air BIC CAMERA
※一部店舗、商品(金券など)によってはご利用いただけません。

株主ご優待割引券

- 羽田空港国際線旅客ターミナル「TIAT DUTY FREE SHOP CENTRAL店」(国際線3階出国エリア)
- 成田空港、関西空港、中部空港の当社指定店舗
- Japan Duty Free GINZA(三越銀座店8階)
※店舗によっては一部ご利用いただけません。

長期保有優待

- 対象：保有継続期間が3年を超える株主さま
(毎年3月31日現在の株主名簿に、当社株式1単元(100株)以上の株主として記載または記録され、かつ、同一株主番号で9月30日および3月31日の株主名簿に連続7回以上記載または記録された株主さま)

詳しくは、同送のご利用可能店舗一覧または以下のURLをご覧ください。

http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/ir/stock_information/preferential.html